PS/55 Z モデル 5510 Z, 同 5510 T

価格性能比に優れる DOS/V デスクトップ

●日本アイ・ビー・エム（日本 IBM）は OADG（PC オープン・アーキテクチャー推進協議会）仕様に準拠した「標準パソコン」を２機種６モデル発表した。最廉価モデルは 19 万 8000 円と従来の日本 IBM にない低価格。併せて新たに OADG 標準キーボードが標準装備された。他メーカー機とのフロッピー・ディスクによるデータ交換を考えると難点はあるが，そうしたことを考えなければ 16 ビット，32 ビット・パソコンとしてはコスト・パフォーマンスは優れている。

PS/55 Z モデル 5510 Z（図 1）は内部バスに AT バスを採用しており，日本 IBM が出した初の AT パソコンだ。今後，他社が DOS/V 対応機を出す場合，この 5510 Z と互換性を取って行くことになる。4 月に発表した「PS/55 note」が OADG のブック型パソコン標準機とすれば，5510 Z はデスクトップの標準機だ。

標準として注目されるのがキーボード。これまで日本 IBM のパソコンで海外ソフトを使う場合，頻繁に使う Alt キーが表示されていなかったため，慣れないと使いにくかった。今回の OADG 標準キーボードでは従来，漢字 前面 キーだったのが Alt キーに置き換えられたり，テン・キーにも矢印キーや PageUP PageDown キーが割り当てられた（図 2）。これで海外ソフトの使いやすさは増した。

ただし，日本 IBM は従来の自社キーボードも OADG 標準として認めている。このため，キーボードのキーの働きの設定を変えることで従来のキーボードもそのまま使える。

表示は5530Zより速い

内部を見ると，5510 Z は CPU（中央演算処理装置）に 16 ビットの 80286（クロック周波数 12 MHz）を搭載している。しかし，ディスプレイ画面を制御する VGA の表示スピードを従来からの 5530 Z の 2 倍に引き上げた。このため，画面の表示スピードは CPU に 80386 SX を搭載している 5530 Z よりむしろ速い。

ただウインドー環境提供ソフトの「MS-Windows 3.0」を使う場合には制限がある。80286 では複数の MS-DOS 対応ソフトを立ち上げておいて，画面上で切り替えながら使うことができない。CPU が 80286 なので 386 拡張モードがないためだ。そうした点から考えると 5510 Z は DOS/V 環境に限定して使う高性能 16 ビット機と言ってもよい。DOS/V は 2 万 3000 円で販売されている。

だが，日本 IBM は日本語 Windows V 3.0 の普及のため，この 5510 Z 用にも 2MB の増設メモリーと日本語 Windows V 3.0 をセットにした「Microsoft Windows 記憶キット」を 6 万 8000 円で今年の 12 月末まで販売している。

XGAにも対応できる5510T

上位機の 5510 T は CPU に 80386（クロック周波数 20 MHz）を，さらに 32 ビット・バスの MCA（マイクロチャネル）を搭載した本格的な 32 ビット機。しかも 40 MB のハード・ディスクを内蔵して，価格は 53 万 8000 円と 32 ビット機としては安い。

5510 Z との最大の違いは 16 ビット機と 32 ビット機という違い以外にもある。例えば 5510 Z では VGA ボードが本体の CPU ボードと一体化されているが，5510 T では分離されている。これは将来の拡張性を意識してのこと。日本 IBM が XGA を正式にサポートした際には，現在搭載している VGA ボードを XGA ボードに入れ替えて，ディスプレイを高解像度に代えたら XGA の標準機になるという仕掛けだ。

この 5510 T にも Windows 記憶キットが用意されている。こちらは増設メモリーが 2 MB で 7 万 5000 円，4 MB で 12 万 5000 円である。

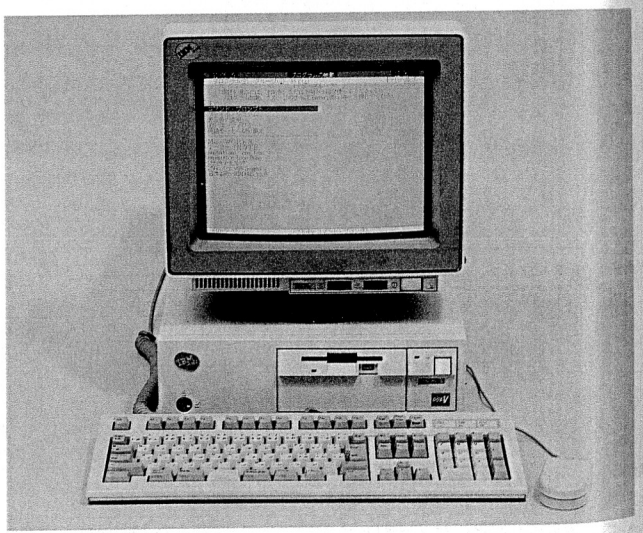
とはいえ，どちらの機種もあくまで DOS/V の標準機。ということは今後，拡張機能を盛り込んだモデルが出るということ。実際，日本 IBM でもフロッピー・ドライブに 1.44 MB だけでなく 1.2 MB も読めるものなどの採用を検討している。ただそうした使い方を考えず，DOS/V 環境で使うだけなら将来の互換性の保障，性能という点では安心して買えるマシンと言えそうだ。

（渡辺　洋之）

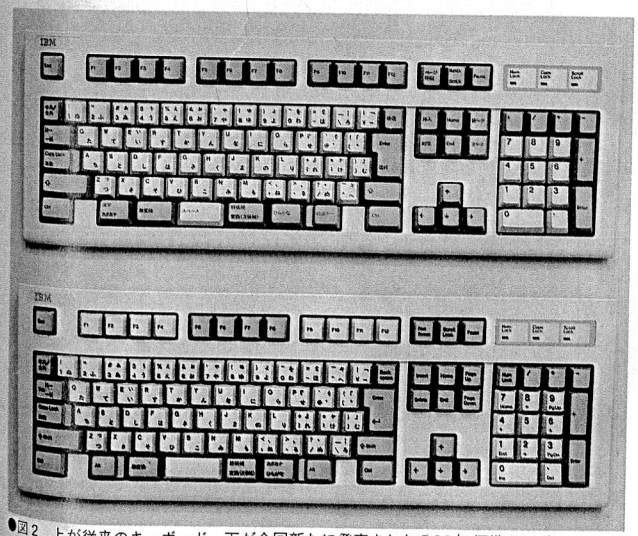
●表 1　PS/55 Z モデル 5510 Z，PS/55 Z モデル 5510 T の仕様

製品名	PS/55 Z 5510 Z		PS/55 Z 5510 T
モデル	Z 02	Z 04	T 04
CPU（クロック）	80286（12 MHz）		80386（20 MHz）
主記憶容量（最大）	1 MB（5 MB）		2 MB（14 MB）
補助記憶装置	内蔵3.5インチFDD1台	内蔵3.5インチFDD1台	内蔵3.5インチFDD1台
		内蔵 HDD 40 MB	内蔵 HDD 40 MB
データ・バス	AT バス		マイクロチャネル
価格	19 万 8000 円	21 万 4000 円	53 万 8000 円

注）FDD：フロッピー・ディスク　HDD：ハード・ディスク
各モデルには DOS/V 搭載済みのモデルがある（1 万 6000 円増）



●図 1　PS/55 Z モデル 5510 Z



●図 2　上が従来のキーボード。下が今回新たに発表された DOS/V 標準キーボード

製品概要
▶製品名
PS/55 Z モデル 5510 Z，同 5510 T
▶価格
PS/55 Z モデル 5510 Z が 19 万 8000 円から，同 5510 T が 53 万 8000 円から
▶問い合わせ先
日本アイ・ビー・エム
☎(03)3586-1111